



1年 井上 萌さん



『夏の花』

※下描きはせず、じかにぬりました。みんなが見てくれるとうれしいです。



『卓上の野菜』



1年 鈴木 菜生さん

※本物らしい色をつけるのと、影をつけるのに苦労しました。

あつまれ みんなの力作



『ざくろの木』



2年 実川 法子さん

※遠近の区別がうまくつけられませんでした。たが、がんばれたと思います。



2年 大木 明香さん

※担ぎ手の人達、おみこし、周りの人達、それぞれの雰囲気を出すのが大変でした。



『ふるさと祭り』



3年 椎名 恵美さん

かぎ一本が



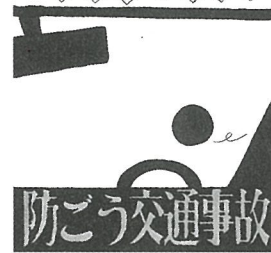
あなたの家を守ります 『防災ポスター』

※かぎを目立たせるための色合いが難しかったです。自分なりによくできました。



中学校

危険予知



『交通安全ポスター』



3年 実川 裕美さん

※標語の文字を強調したかったので、目立つように工夫しました。

ひかり俳壇

推名 静子 (二又) 渓流を夜霧が包む野天風呂

今月は平明の句に共鳴する作品が多かった。この句も作者の詩情の中に引き込まれる

山崎 てい (二又) 礎に落つどんぐり跳ねて落ちつげり

礎(石段)へ落ちたどんぐりの行方を、適確に見定めた観察力が作品を揺ぎない物とした

鈴木とし子 (宝米) 蔓引いて枯蝸螂をこぼしけり

現代俳句はわび、さび、しおりに諧謔性が加味された。ペーソストとユーモアを感じる

越川せつ子 (篠本) 秋晴れや上毛三山ふもとまで

大谷 武彦 (木戸) 老二人連れそう影に木の実落つ

川島 重一 (尾垂) 酒断ちて夜長の灯たのしめず

小柳 孝之 (尾垂) 木の実降る山ふところの長屋門

鴨川 篤 (尾垂) 初秋刀魚競り売りの声弾みおり

水須 幸子 (橋場) 木の実落ち子のポケットに溢れたり

短評

椎名しげる